

市民の皆さんへ



西條市医師会
会長 松浦 裕

これらのものは平成19年4月以前に統一が成されたものもありますが、医師会の合併によって、よりスマートに一つの事業になつていくことを期待しています。

私たち新しい西條市医師会といたしましても、今後できる限り早急に真の統一を図つ

平成19年4月1日に西條市医師会（旧西條市）と周桑医師会（旧東予市、旧丹原町、旧小松町）が合併して、新しい西條市医師会が誕生しました。平成16年11月の2市2町合併に遅れること2年半でした。

この間、市民の皆さんには一つの市でありながら医療提供サービスが二つのエリアで微妙に異なるというご不便をおかけしたことと思います。例を挙げれば、予防接種、学童検診などの学校医や園医にかかる事業、介護保険関係の事業、更には平日および夜間の救急医療体制などでしょうか。

このような身近で大きな問題は、西條市のような中小都市では特に深刻な事態といえます。もちろん、市や医師会も真剣に取り組んで幾度とな



▲今年4月12日に行われた西條市医師会・周桑医師会合併記念式典。

く意見交換を行っていますが、なかなか解決の糸口が見出せないのが現状です。

このような状況の中、市の広報紙に西條市医師会の欄を継続的に設けていただけることになりました。

当初は市民の方に、特に関係の深い救急医療の話題を中心と考えていますが、そのほかにも、医療に関する様々な問題を取り上げて、私たち医師会会員が分担執筆して、その思いを市民の皆さんに問いかけていきたいと思います。

そして、皆さまの活発なご意見をいたく中で、西條市の医療や福祉の明るい未来が見えてくることを期待しています。

◆ 救急医療とは

急病、けが、災害など急に身体の疾患または損傷を受けた人を治療することをいいます。救急医療施設は、患者の疾患・損傷の程度によって、「1次救急医療」「2次救急医療」「3次救急医療」の3つに分かれています。

◆ 1次救急医療

休日や夜間の急病人のため、在宅当番医制を敷いています。

◆ 3次救急医療

高度の検査・手術を要する重篤患者を扱う救急医療施設です。原則として、1次・2次救急医療施設から転送され

生命にかかるほど急を要するときは、救急車を呼ばなければなりませんが、それについての知識を普段から身に付けておくことが大切です。

このため、市では西條市医師会のご協力のもと、救急医療などについて、定期的に広報紙で市民の皆さんにお知らせしていきます。

◆ 2次救急医療

自分で判断し、直接2次救急医療施設へ行く場合もありますが、1次救急医療施設から2次救急医療施設へ紹介されることもあります。

市内の2次救急医療施設は、済生会西條病院、西条中央病院、村上記念病院、市立周桑病院、横山病院の5病院が輪番制で受け持っています。

命にかかるほど急を要するときは、救急車を呼ばなければなりませんが、それ以外のときは、自家用車やタクシーを利用してましょう。

緊急時の対応を普段から心がけましょ